

なぜ台湾を選ぶのか



受診の流れ



Taiwan
Medical Travel

TAIWAN
CANCER
HELP

衛生福利部国際医療管理チーム
台湾国際医療ネット
www.medicaltravel.org.tw
☎ +886-2-2885-1528
✉ ttfmtnhca@gmail.com



AD by MOHW

高齢化、飲食習慣、生活習慣や環境の変化に伴い、がんの死亡数は統計学的に心臓血管疾患に次ぐ世界第2の数となっています（日本は一位）。世界衛生機構（WHO）のデーターによれば、6人に一人の割合でがんによって亡くなるとも言われています。世界のがんの罹患数は肺がん、肝臓がん、大腸直腸がん、胃がん、乳がんの順に増加し続けています。近年、新しいがん治療として注目されているのが免疫療法と陽子線治療です。

免疫細胞を活性化させ、免疫のしくみを利用してがんを治療するのが「がん免疫療法」で世界から注目を浴びています。

がん免疫療法は、もともとヒトの身体に備わっている免疫の力を強靱にしてがんを攻撃することを目的とした治療法です。近年そのがん免疫療法が著しい発展を遂げています。台湾に於ける生物医学研究も先進国並の進歩を遂げ、かなり発展しております。2018年には台湾衛生当局の指導の下、特別管理法を制定し、国の管理のもと、リスクや安全性を重視した細胞治療の適応や方法を確認し、病例を厳選の上、細胞療法または免疫療法の方向性を促した。このため、台湾の各総合病院では、細胞療法（免疫療法）センターを設立し、国内外の患者に治療の提供をしております。

台湾では陽子線治療センターを開設し、がん治療の選択肢を増やしました。

台湾は医療先進国の一員として、陽子線治療にも力を注いでいます。2015年に台湾最初のアジア最大規模の陽子線治療センターを設立。ペンシルビームによるスキャニングを用いた強度変調陽子線治療により、複雑な形状の腫瘍でも立体的に陽子線を照射することで、周りの正常組織への影響を極力抑えながら、腫瘍には効果的な線量を投与できます。副作用を33-83%軽減し、総合的な患者の生活品質の向上に役立ちます。

がん治療施設の認定基準を定め、約60の病院が認定を受けました。

台湾は2006年にがん治療品質認定基準を定め、2年後の2008年にがん治療品質認証制度を発足。新臨床例500を超えた病院に新しい基準での治療ガイドラインに基づいた認証を実施した。それは「患者中心の医療」に基づく治療の流れ、がん治療はもちろん、診療方法、メンタルケアや緩和医療までそれぞれにテーラーメイドの検査や治療の方針を立て、医師と患者の双方が納得いく治療を展開する。現在約60の病院が認証をされ、国内のがん患者の8割のケアをされている。台湾国内がん5年生存率は73%、欧米平均は67%。

合理的治療費、外国人患者の受入れ

長期にわたるがんの治療では、予想以上に医療費が高額で、経済的に悩むこともあると思います。幸いに台湾の医療費は合理的です。例えば陽子線治療、台湾では60万台湾ドルで欧米や日本の費用と比べ、かなり割安です。

台湾衛生福利部
細胞治療（免疫療法）
技術情報サイト

